

# まちぴあ

身近なつながりに出会おう



TAKE FREE  
無料

特集

表現者が集う、  
ちようどいい  
空間あります。

ほっとねっと

地域協働型文科系サークル みゆスタ

まちぴあ登録団体紹介

寄り添う介護サービス <sup>つし</sup> <sup>さち</sup> 辻が幸

／ドラキュラ ロックフェスタ 実行委員会

まちづくりリレーコラム

「まちづくりリレーコラム」が映してきたもの

文化創造をつなぐ  
地方発の小劇場

# 表現者が集う、

# ちょうどいい空間あります。

舞台やお芝居は「ハードルが高い」「自分には無理」と思って、

なかなか劇場まで足を運ばないという人も多いのでは。

でもそんな人にこそ注目してほしい場所があります。

地元の演劇人を中心に、「個」と「個」が出会い、

気軽に自由なコミュニケーションを広げられる場所

として、空間は私たちに開かれています。



## アトリエ ほんまる



舞台裏に配置された広い楽屋は、上手下手の袖に通じていて使い勝手も最高



■ 誰もが自由でいられる場所。  
小劇場の可能性を求めて

今回で紹介する「アトリエほんまる」は、地域の舞台芸術の拠点となるべく、2018年10月にオープンした演劇を中心とした稽古場および発表の場で、宇都宮城址公園にほど近い、中心市街地の路地裏にひっそりと佇むアトリエです。

かつて宇都宮にはいくつか演劇の発表の場がありましたが、アトリエほんまる開設が話し合われた2015〜2018年頃にはその大半が老朽化などで閉館となっていました。そうした場を活動拠点としていた演劇人の有志が、「場を通して生まれるネットワークが失われるのはもったいない。また、場があることで生まれるつながりもあり、宇都宮にはそういう場が必要だ」と、新天地に開設したのが、アトリエほんまるです。

ところが、オープンから一年ちよつと……

自主公演を開催するなどして、ようやく地元にもその存在を認知してもらえるようになってきた矢先に、新型コロナウイルスの猛威が世界を襲います。予定されていた公演はすべてキャンセル。広がる自粛ムードの中、いわゆる「3つの密」を避けるなどといったきびしい制限下での運営を余儀なくされる事態となりました。

「起ってしまったものは仕方がない。想定外に直面したときに、その状況をどう受け入れて、どう判断するのかを考えるきっかけになったと話す支配人の片岡友美子さんは、この時期、なにも予定がなくてもできるだけ劇場を開放するようにしたそうです。舞台にこたつを設置して、ただぼんやりとした時間を過ごしてみたり、高校演劇の部員さんがふらつと立ち寄って、たわいもないおしゃべりをするなどしているうちに、「ああ、こんな劇場の使い方もあるのか」といった発見があったり、新たなつながりも増えたと当時を振り返ります。

コロナが5類に移行され、すっかりにぎわいを取り戻した現在。自宅や学校、職場とはまた違った心地良いこの空間に、どこからともなく人が集まってきて、自然なかたちで面白いアイデアやコミュニケーションが次々と生まれています。

今年4月には、副支配人の鵜飼雅子さんが旗揚げしたシニア劇団「ス



ワークショップに参加して、演劇づくりにチャレンジする高校生のみなさん



演者と観客とともに濃密な体験を共有できるのが小劇場の魅力



アトリエ開設に向けて内装のDIYに汗を流すメンバーたち

Profile

支配人 片岡 友美子 さん

演出家、劇作家、舞台監督、ワークショップデザイナー。大学在学中に京都の学生劇団で、卒業後は宇都宮市内の劇団で長年演出、役者を担当。2008年から、宇都宮市城西小学校で劇団「古賀志のこ」の指導及び会話科の講師を務める。近年は公演活動のほか演劇ワークショップなども積極的に手がける。演劇のほか宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」、パーソナリティやゴスペルクワイヤ「WISHes」など多方面に活躍中



Yumiko Kataoka

Profile

副支配人 鵜飼 雅子 さん

舞台役者、朗読家。ワークショップデザイナー。日本演劇教育のさきがけ的な存在である劇団らくりん座の正式団員として全国各地で公演を経験。退団後は、個人でも公演を企画し、表現指導や表現活動を県内外で展開。舞台の新しいかたちを目指して、現在は各アーティストとのコラボ公演なども精力的に行っている



Masako Ukai



コロナ禍ということで、全員マスク着用にて舞台稽古に励む

演劇は、生身の人間が客席にいる人々のために、その場限りの演技をみせる一回性を持つ芸術です。身近にある小劇場で、その一回さりの舞台に立ち会うことのできる豊かさを、あなたもぜひ一度味わってみませんか。

演劇は、生身の人間が客席にいる人々のために、その場限りの演技をみせる一回性を持つ芸術です。身近にある小劇場で、その一回さりの舞台に立ち会うことのできる豊かさを、あなたもぜひ一度味わってみませんか。

演劇に深く関わってきたお二人だからこそ実現できた「観客との一体感」が感じられるこの空間は、けっして小劇場ならではの物理的な近さのおかげだけではありません。この街に住む人々が日々の暮らしの延長線上で演劇をみたいと思えば、演者は観客の生の声に触れて、それをまた芝居に反映させようとする。そんなお互いの熱が肌で感じられるような関係性の上に成り立っている空間のように思えるからです。

「この空間が今後どういう場所に発展していくのか、私たちも楽しみです」と話す片岡さんと鵜飼さんのお二人。舞台芸術を通じて周囲の人々とのあたたかい交流を育むためのアトリエスペースというよりは、みんなが集う「公民館のような場所」というスタンスで、誰もが自由にいられる場づくりを目指しています。

特筆すべきは県内の高校生の皆さんが、ワークショップや自主公演のみならず、アトリエの公開日に気軽にアトリエを訪れるなど、活況を呈していることでしょうか。「ほんまる高校演劇アラカルト」という、栃木県の高校演劇と共同で行なっている高校生を対象にしたワークショップ企画を通して、昨年は作品を作って発表することで文化芸術活動の底上げに貢献するだけでなく、ここで活動した若い演劇人たちが、長じて地元で公演を企画するなどのサイクルを生み出しつつもあります。

「ターライト」が第四回公演を開催し、これまでの最高齢となる80歳女性が初舞台にあがり、地元新聞社の紙面にも大きく取り上げられました。6月には一人芝居フェス「これ以上削れない」を企画。栃木と茨城の役者12人が一人芝居に挑戦するという新たな試みが開催されるなど、文化創造の拠点として確実に機能しはじめています。

■ アトリエほんまる

〒320-0817 栃木県宇都宮市本丸町1-39

- ホームページ <https://metamix.com/honmaru>
- 問い合わせ E-mail: atelierhonmaru@gmail.com
- 利用実績 演劇公演、ミニコンサート、映画上映会、ワークショップなど
- 客席 最大65席利用可(椅子、受付用長机貸し出します)

まちづくり活動仲間が目指すもの

# ほっとねっと

No. 51

感染症の対策が変わり宇都宮市内も多くのイベントが戻ってきました。今回は、宇都宮市をはじめ県内各地で、音楽・アート・クラフトなどの文化イベントの主催および支援活動を30年以上続けている団体にお話を伺いました。

## 「文化活動で地域の好循環サイクルを創出」

### 「みゆスタの誕生」

「みゆスタ」は、宇都宮市をはじめ県内各地で多様な文化活動を主催、応援している地域協働型文化系サークルです。活動のはじまりは、海外生活の経験がある団体創設者が宇都宮市に戻った際、海外ではさまざまなボランティア活動があったり前のように行われているのに対し、日本ではあまり見かけなかったことに疑問を持ち、



高齢者施設での演奏ボランティア

「ボランティアを日常的な文化にしたい」と志したことがきっかけだそうです。

地元の御幸地区で地域美化や青少年の更生など福祉ボランティアを自ら開始。一緒に活動する仲間が増えていく中で、地域で活躍するスターを育てたいという想いから「みゆスタ」は誕生しました。こうして個人の活動から団体となり、市内全域での活動にまで広がっていきました。

### 「人をつなぐ文化活動」

2000年頃、時代の流れの中でひきこもりをテーマに活動するようになっていったことから、若者たちの表現の場所として、音楽やイラストなどの創作物を発信するようなイベントをたくさん行うようになりました。ストーリーライブ「Farou」、飲食販売「みゆカフェ」、親子参加型のワークショップ「みゆスタ学園」など、次々と新たな企画が生まれたことで、参加協力したいという仲間も増えていき



みゆスタも出店協力している「miya@LIVE」オリオンスクエア屈指の集客を誇るイベントです

ました。オリオンスクエアなど中心商店街地でイベントを開催する際には、空き店舗や路上まで活用するなど、さながら街中の文化祭となっているようです。

こうして若者支援からはじまった文化活動は、やがて世代を超えて広まります。会社員やシニア世代まで、趣味を活かした文化活動のネットワークが広がっていき、現在の地域協働文科系サークルへとつながっています。

### 「担い手を育む好循環」

団体には、イベント開催に関することや、福祉施設での訪問演奏ボランティアを行う際のコツを知りたいなど、活動開始から間もないチームやマンネリ化に悩むグループまで年間20件以上の相談があるそうです。そうした質問に「いねいに答え、長年の経験で培ったノウハウはどんどん伝えていきます。」

その蓄積によって、自分たちだけで楽し

### 地域協働型文科系サークル みゆスタ

E-mail: [info@miyusta.net](mailto:info@miyusta.net)  
URL: <https://www.miyusta.net/>

### 取材後記

団体創設者にお話を伺った今回の取材では「文化は人を豊かにする」という信念を感じました。現在も、宇都宮市内で若者支援のボランティアもしているとのこと、文化活動に取り組む人たちが成長していく様子を実際に見ているからこそこの言葉だと思いました。(小倉)



文化活動で出会う素敵な仲間たち

んでいた人たちが、高齢者や障がい児者、児童施設などへ訪問ボランティアをするようになるなど、文化活動をきっかけに、福祉や地域活性化といったまちづくりの担い手を育む好循環を生み出していくことにもつながっています。



小上がりのようにになっている畳の部分はイベント時にはステージに変身

個性的な屋外音楽イベントの数々を企画してきたスパイルロックが、文化発信の拠点にしようとして昨年オープンした「ガンダラカフェ」。

中学生が主催する音楽イベント「ビートボックス大会」を全面バックアップなど、若者の夢を応援しています。イベントや貸し出しのないときには、楽器演奏やクリエイターの創作活動など

も充実。秘密基地のような居場所」にも登録して、小学生から高校生を対象に勉強や趣味の場として開放しています。



### ガンダラカフェ

宇都宮市江野町11-6 むぎくら中央ビル2階  
営業時間 ランチ 11:00~15:00 (水曜定休)  
カフェ 15:00~19:00 (不定休)  
学生開放日 第1・第3月曜日・水曜日



時短勤務など、女性が働きやすい環境を整えています

10月5日には直売所が最適です。

## 若者の夢と推し活を応援するカフェ

# とっておきの関心空間

「まちづくりって何?」そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちびあから「まちパワー」を発信します!!

くつろぎ空間で、趣味や推し活に没頭するあなた時間を過ごしてみは?

# MACHI DUKURI TOPICS

「まちづくりって何?」そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちびあから「まちパワー」を発信します!!



うつつのみや文化の森でも活動。絶賛活動メンバー募集中です

「楽しいときははのびやかないように、吹く人の心がそのまま音色にも反映するところがおもしろい」と口笛の魅力を話してくれました。

焼き芋って、ときどき、無性に食べたくなりませんか。いつでも絶品の焼き芋が食べられたなら。そんな願いをかなえてくれる「冷やし焼き芋」があります。

農業・除草剤・化成肥料

を使わずに作ったさつまいもを大谷石の地下貯蔵庫で一年寝かせた超熟成芋を使用。特製の焼き芋機でじっくり焼き上げ、熱いうちに真空パックにして、凝縮した旨みを閉じ込めました。

オープン。男性客も多く、数本まとめ買いの方が多く、そうなので、ぜひ完売になる前にお求めください。



紅はるか 熟成冷やし焼き芋

200g 950円(税込)

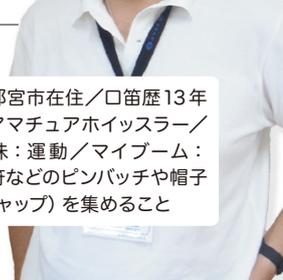
アベチャンファーム  
〒321-0106  
栃木宇都宮市上横田町 528-1  
平日 9:00~15:00 月曜定休  
土日祝日 9:00~17:00  
TEL. 070-1183-8739  
URL: <https://www.abechanfarm.com/>

## うつつのみや発の

# 話題人

自分だけの音色で心を届ける口笛を

みどりかわ あきよし  
緑川 明義さん



宇都宮市在住/口笛歴13年のアマチュアホイッスラー/趣味:運動/マイブーム:音符などのピンバッチや帽子(キャップ)を集めること

気分がいいとき、ふと吹きたくなる口笛。誰でも気軽に始められて、プロの奏者もいるほど奥深い世界であるようです。

口笛サークル「Heart & Melonco」は、福祉施設などのボランティア演奏を通じて、音楽の魅力を伝えるとともに、気軽に口笛を楽しんでもらおうと活動していましたが、新型コロナウイルスの影響で活動休止に。「もう一度みんなで」との思いから、今年一

月に再開させた緑川さん。楽譜は使わず、何度も聞いてインプットした音を口笛に乗せるスタイルで、演奏ジャンルはクラシックからCMソングまでさまざまです。

「楽しいときははのびやかないように、吹く人の心がそのまま音色にも反映するところがおもしろい」と口笛の魅力を話してくれました。



## ロックフェスと献血の音楽フェス

今回紹介する「ドラキュラロックフェスタ実行委員会」さんは、栃木県の赤十字献血サポーターとして、ロックフェスと献血を組み合わせた音楽フェスを実施しています。「ロックフェス」と「献血」は一見結びつきがないように思われますが、ドラキュラⅡ吸血のイメージがあることからイベント名を付

けられました。献血車が会場に来て、50人以上の献血協力があるなど話題性もあります。今年で9年目、これまで40回以上開催してきました。無料で出演者の生演奏やダンスを楽しむことができ、秋には、同時開催でハロウィン衣装イベントを行うなど来場者も楽しめます。児童虐待防

止や各種募金なども呼びかけるなど、市街地活性化と社会課題解決につながる機会になっています。「多くの人に献血に興味を持ってもらえると嬉しい。楽しみながら社会貢献につながるこのフェスをVol.100になるまで走り続けたい」と実行委員長の鈴木さん。メンバーと共に運営に奔走する傍ら、ご自身も出演者として、イベントの盛り上がりに一役買っ



県内だけではなく、近県でも開催実績あり

【団体名】 **ドラキュラ ロック フェスタ 実行委員会**

【開催場所】 ライトキューブ宇都宮交流広場 他道の駅など  
【問い合わせ】 Instagramアカウント（Instagramで検索すれば出ます）

まちづくりへの熱い想いがあふれる猪瀬代表



## プロボノ活動で助け合う社会の実現

寄り添う介護サービス「辻が幸」（つじがさち）さんは、介護などの公的

支援では支え切れない在宅高齢者がいる現状を目の当たりして、そうした人たちの助けたいと2023年8月に代表の猪瀬さんが設立した有償ボランティア団体（プロボノ団体）です。

プロボノとは、職業上のスキルや経験を活かして取り

頼に対応してきました。昨年は約150件の依頼に対応してきました。

今年度は宇都宮市の助成金を受けるなど活動を加速させていきたいと目論んでいるものの、団体には実に多くの要請が届いていて、現在の人員では応えきれないというのが実情だそうです。



勉強会に参加するメンバーのみなさん

今後は自ら成年後見人を受任するなど活動範囲を広げ、さらに仲間を増やしながら継続的な支援を目指します。

【団体名】 **寄り添う介護サービス 辻が幸**

【代表者】 猪瀬 幸次（いのせ こうじ）  
【連絡先】 TEL.080-4146-3009  
【活動場所】 宇都宮まちづくりセンター  
【活動日時】 月1回程度、専門職がお互いに学び合う勉強会を開いています



土崎 雄祐  
プロフィール

一般社団法人とちぎ市民協働研究会専務理事、NPO法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事。NPOの運営支援や市民向け講座のプログラム開発などに従事。専門はボランティア・NPO論。趣味はアイドル関係フィールドワーク

書籍紹介  
まちづくりを考える  
この一冊！



林直樹 著

「撤退と再興の農村戦略  
複数の未来を見据えた前向きな縮小」  
学芸出版社  
2024年2月発行

このコーナーでは市民のみならず、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちびあ広報部へ。

## 「まちづくりリレーコラム」が映してきたもの

「まちづくりリレーコラム」が始まったのは、2019年7月の本誌No.30のこと。まちびあ指定管理者である宇都宮まちづくり市民工房陣内雄次前理事長の29回に及ぶ連載「まちづくり言いたい放題」の後を引き継いでスタートしました。執筆者陣は、同じく宇都宮まちづくり市民工房の安藤正知、岩井俊宗、小倉克洋、坂本文子（現福岡工業大教員）、濱野将行、そして筆者の6名が務め、それぞれが日々五感で感じている「まちづくり」の言語

化にチャレンジしてきました。自画自賛のように聞こえるかもしれませんが、いま、あらためて振り返ってみると、どれも示唆に富んでおり、そのときどきの時流をとらえていると思っています。本誌の発行が50回を数えたこともあり、とりあえずの総括の意味を込めて、これまでの連載から見えてきたまちづくりについて論じてみることにします。

この間、国内では、ラグビーW杯や東京五輪が行われ、その結果に「喜一憂」してきました。こうしたスポーツイベントは、社会の一体感の醸成につながりますが、地域コミュニティに目を転ずると、多様な個性を持った人々が暮らしており、まちづくりの場では、誰も排除することなく、住民同士が折り合いをつける努力が必要で、その積み重ねが、多文化共生や社会的包摂、さらにはSDGsの実現へとつながっていきます。

また、社会の動きとして、コロナ禍に触れないわけにはいきません。当時、アルバイトの減少や就職内定取消に頭を悩

ませる若者が増え、まちびあ利用団体も活動の継続に苦心する様子が見受けられました。マスローの「安全の欲求」が満たされない状況が続くなか、再確認されたのが地域の居場所の重要性です。それは、単なる物理的な空間にとどまらず、その場にいる人たちが役割を担うことに意義があると論じられています。

そして、どんな時代でも、どんな場でも、まちづくりには学びが欠かせません。人々の学びは、個人のスキルアップのみに矮小化されることなく、社会におけるイノベーションの創出や日々の暮らしにおける人と人とのつながりに寄与し、まちづくりの起点には必ず学びが存在すると言っても過言ではありません。まちびあにおいても、多くの団体が、活動と学習の往還をしていることと思います。

限られた紙幅では、語り切れぬことがあります。このコラムの連載が、どこかの誰かの、未来のまちづくりのささやかな道しるべになっていることを願って。

まちびあ  
から  
PICK UP!

## PICK UP!

### 宇都宮の昔が甦る 「おいしい」がつなぐ世紀を超えた家族のきずな

コーヒーフロートの写真がぐっと目を引く装丁。どこかノスタルジックな雰囲気の本書は、「47都道府県1000円グルメの旅」でおなじみ、栃木県在住の食べ歩き人気ブロガーが、地元の大谷石採掘場を舞台に書き上げた長編小説のデビュー作です。第3回「日本おいしい小説大賞」を受賞したことで、全国の読書ファンにも栃木の食の魅力を伝えてくれています。地元を知り尽くした著者が描く、市内大通りの街並みや大谷採掘場の美しい情景が細部まで鮮やかに

目に浮かぶ。ちたけうどんやミルクセーキなど人気ブロガーならではの美味しそうな料理の描写はさすがというほかなく、五感をくすぐるようなみずみずしく繊細な表現にぐいぐいと引き込まれてしまいます。レトロな雰囲気と移りゆく街の歴史を味わうだけでなく、休日には聖地巡礼したり、百年厨房メニューを再現してみたりと楽しみ方も人それぞれ。地元宇都宮がぎゅぎゅつと詰まった濃密な読書体験をぜひお試しあれ。



### 「百年厨房」

村崎なぎこ 著 / 株式会社小学館  
2022年4月発行

# まちぴあからのお知らせ

## 募集案内

## オフィス入居団体募集

NPO法人などの活動拠点として事務用スペースを貸し出し

- 入居期間** 令和7年4月1日～令和8年3月31日。毎年度更新が必要。最長で3年間使用可。
- 対象** 5人以上で構成され、規約又は会則があるボランティア団体やNPO法人などの非営利活動団体
- 募集数** 13団体13区画
- 設備** 事務机、椅子、書庫1台、電気コンセント(15A以内)、電話回線・インターネット回線(契約、利用料金、電話機等の機器は各団体負担)。各スペースは高さ約1.6mの衝立により仕切られています。
- 費用** 月額3,130円(使用料)
- 審査** 書類審査、ヒアリング
- お申込み** 11月30日までに、まちづくりセンターまちぴあまで **その他** 詳しくはスタッフにお問い合わせください

## 助成金情報

## 令和6年度 市民活動助成金交付団体の活動紹介

### 宇都宮発の市民活動を応援しています

市では、市民や企業の皆さんからの寄付金の他に、寄付金と同額を市からも支出して積み立てる「市民活動助成基金」を設置し、さまざまな分野で活躍する市民活動団体に助成金を交付しています。今年度の助成先が決定しましたので、今後の活動にご注目ください。

**お問い合わせ** みんなでまちづくり課  
TEL.028-632-2900

### スタート支援コース

立ち上げて間もない団体などに、事業の開始など団体の自立化を支援するコース

- ◆ **宇都宮パフォーマンス育成実行委員会**  
ダンスイベントの開催
- ◆ **特定非営利活動法人 とちぎ自主夜間中学**  
学びの場の提供
- ◆ **特定非営利活動法人 チームネクスト**  
ホームページ開設によるウェブミーティング方式の学習会の開催
- ◆ **とちぎ夢給食プロジェクト**  
有機農業の啓発活動
- ◆ **特定非営利活動法人 HARU for me**  
子育てに関する講座の開催
- ◆ **宇工高スカイベリージャムチーム**  
プログラミング講座等の開催
- ◆ **寄り添う介護サービス 辻が幸**  
高齢者を対象にした支援ボランティア
- ◆ **サロンむらいの保健室**  
健康相談室等の開催
- ◆ **群雀 MURASUZUME**  
雀宮駅周辺のイベント開催

### ステップアップ支援コース

結成後2年以上経過した団体に、事業の拡大など活動の活発化を支援するコース

- ◆ **特定非営利活動法人 大谷商工観光協会の会**  
夏祭りの開催
- ◆ **特定非営利活動法人 ひとつの花**  
農福連携事業
- ◆ **癒しのマルシェ実行委員会**  
癒しをテーマとしたイベントの開催
- ◆ **うつつのみやジュニアジャズオーケストラ**  
イベントでのジャズ披露
- ◆ **特定非営利活動法人 栃木 DARC**  
薬物依存等に関するセミナーの開催
- ◆ **特定非営利活動法人 栃木蘇生教育協会**  
心肺蘇生法やハイムリック腹部圧迫法の周知活動
- ◆ **トチギSSK (トチギ障がい者スポーツ交流会)**  
障がい者スポーツの体験会等の開催
- ◆ **愉快なわれらの会**  
シルバー世代のフレイル予防の実施
- ◆ **軽音楽ボランティア ファミリーナ**  
高齢福祉施設等での演奏会の開催
- ◆ **シニア生まれ変わりPJ 会いてイ (IT) なかまの会**  
シニア世代向けの携帯・スマホ勉強会の開催
- ◆ **WAKUWAKUのタネ**  
自然科学をテーマとしたイベントの開催

### 連携支援コース

団体が、2つ以上の団体又は事業者等と連携して実施する新規事業及び既存事業の拡大に要する費用を助成し、市民協働を支援するコース

- ◆ **徳次郎石研究会**  
採石地の跡や石造文化の調査等
- ◆ **TABUWATA**  
異文化理解や多文化共生促進のイベントの開催

## 市民活動助成基金 ご協力ありがとうございます

- 株式会社 エイチ・エル・シー
- 藤電設 株式会社 ● 匿名希望

### 市民活動助成基金とは

宇都宮市では、ボランティア活動やNPO活動を活発にし、全市民的に広げていくため、これらの活動を市民、企業、行政のみんなで支える仕組みとして「市民活動助成基金」を設置しています。

### 宇都宮市役所

みんなでまちづくり課 まちづくりグループ  
TEL.028-632-2900

URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

- ※トップページ▶(分野別で探す)市民協働
- ・コミュニティ▶ボランティア・NPO

## まちぴあ新規登録団体

(2024年7月31日現在 登録団体数 191団体)

### とちぎ夢給食プロジェクト

有機農産物の消費を促進し、持続可能な農業の発展に貢献し、家庭での食への関心を高め、健康な食生活の支援に寄与する

### LGBTs研究会にじみや

多様なセクシュアリティの人たちが安心できる居場所をつくることを目的に、学生・地域向けの交流会、講演会、啓発を目的とした映画会やポスター展示などを行う

### 子育て応援 斜め横の大人のコミュニティ 勇気づけCafe

子育ての不安や悩みを気軽に話せる場の提供および、社会全体で子育てしていくことの大切さを感じている幅広い世代との交流の場を創出する

### おとろんど

親子コンサートを中心とした音楽活動を通じて、生の音楽とふれあう機会により、心身の癒しと子どもの豊かな成長及び子育てを支援する

### ゆったりリブナヨガ

ヨガを活用した心身と自分の内観と向き合うプログラムを通じて、健康増進に関心のある市民同士のふれあいを促進

### マジカルサンライズ

マジック技術の習得に努め、会員の親睦を図り、日頃の成果を慰問活動など地域活動に役立てる

### ギャマンとちぎ

ギャンブル依存症の家族、友人などの悩みを抱える人の手助けや居場所づくりの活動

### ステップ南宇都宮

ギャンブル依存症の家族、友人など、ギャンブル依存症に関する悲しみや苦しみを抱き続ける人の手助けや、居場所づくりの活動

### 群雀 MURASUZUME

さまざまな活動を通して、雀宮地域に生きる人と人とのつながりを新たに創出し、地域の発展と活性化を目指す

### 栃木県断酒会ホトギス 宇都宮平石支部

酒害に関する知識・啓もう、酒害予防及び酒害者救済に関する事業を通して、自らの意思により断酒を実行しようとする者の社会復帰の促進を図る

# まちぴあ

## 宇都宮市まちづくりセンター

(指定管理者：認定NPO法人 宇都宮まちづくり市民工房)

〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7

TEL.028-661-2778 / 028-661-2779

FAX.028-689-2731

E-mail: [info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org) URL: <http://www.u-machipia.org>

開館時間 午前9時から午後9時30分まで(日祝は午後5時まで)

休館日 年末年始(12月29日～翌年1月3日)

臨時休館(施設点検等)

JR宇都宮駅東口から徒歩15分 駐車場28台

まちぴあ情報誌の音訳版もございます。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。

